

令和4年度 第2回榑引地域振興懇談会 (会議録・要旨)

○日 時：令和5年3月14日(火) 午後2時から午後4時10分まで

○会 場：榑引庁舎 第一会議室

○出席者：敬称略

(出席委員) 小林 幸一、小林 隆、安野 良明、五十嵐 誠一、佐藤 正幸、上野 由部、
秋山 彌里、清和ふみ子、本間 与一、宮城 妙、馬場 合、菅原とり子

(欠席委員) 釧持 康光、富樫 勉、重松 美鈴

(市側) 企画部政策企画課専門員 佐藤 紘司、地域振興課主事 佐藤 千恵

榑引庁舎総務企画課長 前田 郷子、産業建設課長 熊坂 誠、

総務企画課課長補佐(兼)地域まちづくり企画調整主査 遠藤 直樹、

市民福祉課課長補佐 佐藤 千冬、産業建設課課長補佐 斎藤 秀一郎、

総務企画課未来事業推進員 渡部 尚美

(支所長、市民福祉課長、急遽欠席)

一 次 第 一

[委嘱状交付] 代表者に交付

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・協議

(1) 第2次鶴岡市総合計画の中間見直しについて(資料1)

及び前期基本計画における榑引地域振興策の評価(資料2)

(2) 令和5年度榑引庁舎重点施策(資料3)

及び榑引地域まちづくり未来事業について(資料4)

(3) 榑引生涯学習センターの耐震改修工事について(資料4)

(4) その他

4 そ の 他

5 閉 会

.....

一 委嘱状交付 一

総務企画課長

開会に先立ちまして、公共的団体を代表する方が交代し、新たに1名の方に委員をお願いいたしますので、委嘱状の交付を行います。委員名簿6番の榑引地区民生児童委員協議会会長の五十嵐誠一様、その場にお立ちください。

なお、委員の任期は令和5年3月31日までとなります。よろしくお願いいたします。

1 開会

総務企画課長

最初に資料の確認でございますが、事前送付させていただいた資料一式（資料1～資料5まで）でございますが、もしお忘れの方、資料がなかった方いらっしゃいましたら申し出ください。

また、当日配布の資料として、次第、出席者名簿・席表と、黒川橋の解体工事の概要をクリップ止めにしたものを机に置いてあります。ご確認をお願いします。ございますでしょうか。

委員の皆様方にはご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。本日は委員15名のうち12名のご出席をいただいております。また、当懇談会は公開会議としていますが1名申込みがあり傍聴されています。

只今から、令和4年度第2回櫛引地域振興懇談会を開会いたします。

最初に、当懇談会会長の小林幸一区長会長様よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ

会長

本日は、年度末のお忙しい中ご出席をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染症、昨日からマスクの着用については、個人の判断ということになりました。

しかし、終息したわけではありません。本日出席の委員の皆様は全員マスクを着用のようであります。これからも感染には充分気をつけながら物事を進めて行かなければならないと思います。

さて、本日は令和4年度第2回の櫛引地域振興懇談会です。

本日の議案については、説明、協議合わせて大きく三つほど、資料については先ほど確認がありました。五つであります。

皆さんからは、常日頃考えておられること、第1回懇談会で説明のあった事業等についての進捗状況や問題点のほか、来年度以降の事業についても忌憚のないご意見をいただければと思っております。

よろしくをお願いいたします。

総務企画課長

ありがとうございました。都合により急遽欠席させていただきました櫛引庁舎天然支所長の挨拶を代読いたします。

総務企画課長（支所長あいさつ代読）

皆さん、こんにちは。本日は公私ともにご多用のところ「第2回櫛引地域振興懇談会」にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から榊引地域の振興発展のためにそれぞれのお立場で大変なご尽力をいただいておりますことに対しましても、心から敬意と感謝を申し上げます。

公共的団体等を代表するものとして、今回、榊引地区民生児童委員協議会会長の五十嵐様に委員として新たにご委嘱申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、令和4年12月31日未明に西目地内で発生いたしました土砂災害につきましては、2名の方がお亡くなりになり、17棟の建物が倒壊するなど自衛隊への災害派遣を要請する事態となりました。改めて、この度の災害でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

榊引地域にも5か所の土砂災害警戒区域があるため、改めて注意喚起を行うとともに、県と協力しつつ令和5年度にハザードマップを見直す予定であります。

さて、ようやく春めいた天候となってきました。今シーズンは山間部では大雪となり、寒波の影響による水道管の凍結・破裂、また暴風による停電なども発生しました。榊引地域の桂荒俣では12月20日に最大積雪深84cmを記録しましたが、平野部では比較的穏やかな日が多かったのかなと思います。

また、3月に入ってから季節外れの暖かさが続いており、榊引の特産である果樹の生育状況も平年より早くなっております。今後の天候次第によりますが、寒の戻りによる凍霜害の発生等、生育に影響を及ぼさないか、少し心配をしているところであります。

榊引たらのきだ이스キー場につきましては、12月のまとまった降雪によりオープンと同時に滑走可能となりました。今年度から来場者サンクスデーイベントを3回開催したことや昨年度より営業日数が多いこともあり、対前年比で入れ込み数は116%、リフト輸送人員103%と多くの利用がありました。年末年始と週末に天候に恵まれなかったこともありリフト券販売実績は92%となっております。

新型コロナウイルス感染症についてであります。国では、5月8日から、感染症法上の位置付けを現在の「2類相当」から「5類感染症」に引き下げることとしております。この感染症法上の分類の変更は、3年余り継続してきた新型コロナ対策や社会経済活動の転機となるものであり、今後の国の動向を注視し、小中学校における運用など市民の皆様への周知のあり方を検討するなど、庄内保健所、鶴岡地区医師会等と連携して対応してまいります。

令和4年度は酒井家庄内入部400年にあたり、関係各所で様々な記念事業が行われました。榊引管内でも、記念事業と連携した観光コースとして、王祇会館や丸岡城跡も組み込まれ、酒井家拝領品特別展示や出土品特別展示が開催され、記念事業を盛り上げていただきました。時期に間に合わせるよう、地域まちづくり未来事業によりインバウンド対応として英語解説付きの案内看板、パンフレットの製作も行いました。

来年度も引き続きアフター事業が予定されており、榊引地域の観光施設との連携につながればと考えております。

引き続き、未来事業に関連して申し上げます。宝谷地区のでわ宝を使用した宝谷そばの乾麺を商品化し、昨年10月15日からふるさとむら宝谷をはじめ、市内産直施設等での販売、ふるさと納税の取り扱いを開始いたしました。さらに、フルーツ振興プロジェクトにおきましても、新たにフルーツ加工品の商品開発に取り組み、櫛引産フルーツを活用したタルトとパウンドケーキを商品化し、今月3日に報道関係者向け商品発表会、先週10日にふるさと納税サイトへの公開、今週末の19日に産直めぐりでの販売開始を予定しております。

くしびき温泉ゆーTownは令和3年度より健康増進施設として再スタートしました。令和4年度は2月までの入浴者数が101,744人となり、前年比で約1万人増加し、9.9%の伸びとなっています。この度、多くの方々より愛着を持っていただくための取組みとして、オリジナルキャラクター「ゆーたん」が誕生しました。これも未来事業を活用した取組でございます。これまで以上に皆様に愛される施設となるよう取り組んでまいります。

本日の懇談会では、令和5年度に予定する櫛引地域の重点施策について、地域まちづくり未来事業も含めてご説明を申し上げますが、予算額は公表されておりますものの、市議会で審議中であり議決を経ておりませんことから、取り扱いにはご注意くださいようご理解をお願いいたします。

資料の説明は、ごく簡単にさせていただきますので、ご不明な点への質問、また、委員の皆様からも新たな事業のアイデアなどたくさんのお意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

結びに、櫛引地域の振興、発展のために委員の皆さんが日頃お考えのことや、地域活性化に向けたご提言などを合わせてご発言いただきながら、限られた時間ではありますが有意義な懇談会となりますようお願いを申し上げます、挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

3 説明・協議

総務企画課長

それでは、3.説明・報告から5.情報提供までは設置要綱第6条、第2項の規定により小林幸一会長から議長となり進めていただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

会長

それでは、暫時の間進行をさせていただきます。みなさんからはご協力のほどよろしくお願いいたします。最初に説明・協議という事で三つありますが、順次質疑をお願いしたいと思います。それではよろしくお願いいたします。

(1) 第2次鶴岡市総合計画の中間見直しについて・・・別添資料1

説明・政策企画課専門員

(上記について、資料に基づきながら説明。)

(1) 前期基本計画における櫛引地域振興策の評価について・・・別添資料2

説明・総務企画課長補佐

(上記について、資料に基づきながら説明。)

会長

はい、ありがとうございました。只今、資料1、資料2説明いただきました。聞きながらもう少し丁寧にとか、疑問な点とかありましたらご質問等々いただきたいと思います。

A委員

たらのき代スキー場の夏場の利用客を増やすために視察を行ったということですが、内容をお伺いします。

産業建設課長

スキー場にひまわり畑を作り観光客誘致として、その先進地として福島県に関係者と視察にいきました。

会長

他にありませんか。

B委員

資料1で、市民が参画できる市民ワークショップで若者や高校生を対象に、3月くらいに1回目を開催するとのことですが、募集方法ですが、市のホームページを活用する以外にも募集の方法があったのかお聞きしたいです。前にSNSで拝見しましたが、市の中心街地に関するアンケートを実施したときに参加させてもらいましたが、市民がアンケートに参加できることは大変良かったです。その結果や、どんな成果があったのかお聞きしたいと思います。

政策企画課

1つ目のワークショップですが、鶴岡工業の生徒さんを対象に開催しました。その結果については、ホームページで結果を報告するつもりです。中心市街地に関するアンケートですと、都市計画課で行ったアンケートだと思いますが、それについての情報を持ってないのですみません。

B委員

ワークショップの結果が活かされるような内容にしていくと思いますが、実施計画等に反映する際ですが、他の市の実施計画など拝見すると、結構カラフルで、図とかも活用していてとても見やすくて違いを感じました。地域のビジョンを市民の皆さんと共有できるような方向にぜひ持ってほしいと思いました。

総務企画課長補佐

今のアンケートについては、中心市街地のアンケート方法を例にして、こういったアンケートの取り方を、総合計画の見直しでも行ってもらいたいという趣旨でいいでしょうか。

B委員

はい、そうです。

政策企画課

今の実施計画が非常に分厚く文字が多くなっていますが、一方普及版という形で、概略したものがあります。この後どういう形で作るかということで、皆さんが読んでわかるような内容で工夫して作っていき、確認して参考にしていきたいと思います。

会長

ほかにありませんか。それでは、次に（2）について説明をお願いします。

（2）令和5年度櫛引庁舎重点施策及び櫛引地域まちづくり未来事業について

別添資料3・資料4

説明・総務企画課長・総務企画課長補佐

（上記について、総務企画課事業について資料に基づきながら説明。）

説明・産業建設課長・産業建設課長補佐

（上記について、産業建設課事業について資料に基づきながら説明。）

説明・市民福祉課長補佐

（上記について、市民福祉課事業について資料に基づきながら説明。）

会長

以上で（2）資料3、資料4の説明が終わりましたが、皆さん何かありませんか。

C委員

敬老会についてですが、敬老会はどうなっていますか。

市民福祉課長補佐

令和2年度までは、一堂に会しての実行委員会形式で実施していましたが、令和3年度からは各地区の取り組みとして行っています。自治総合交付金の中に敬老会にかかる費用が入れてあります。名簿など対象者については、市民福祉課に照会頂いてデータなど提供しています。

C委員

馬渡の桜ですが、前はぼんぼりを立ててましたが、今この件についてはどうですか。

産業建設課長

5年以上も前になると思いますが、詳しい経過もわからなくなっていますが、逆にお尋ねしたいのですが。

C委員

ぼんぼり相当数あったと思いますが、どこに行ったのでしょうか。また、桜の木に団体名とか名前とか付いていたのですが、木の成長で外れたなど、管理が出来ていない。公園の照明のガラスなども割れていても修理もしていないなど見られる。前はそこでカラオケ大会など、いろいろな行事を行っていた。せっかくある設備なので、もう少し利用度があるように考えていただきたい。

総務企画課長補佐

10年ほど前まで櫛引桜の会というのがあり、やすらぎ公園といいまして、馬渡地区の方中心に管理運営組合で受託して桜並木を管理していますが、協力してやっていたと思いますが、調べてみます。

A委員

来年度は計上無理と思いますが、スポーツセンターの改修ですが、車椅子の方の館内の移動ですが、1階から2階、2階から1階の移動するときの移動手段がないのです。

それで、エレベーターとかあればいいのですが、エレベーターは構造的に設置するのは難しいと思うので、階段のところに壁を設置して、車椅子を乗せて移動する方法もありますので、来年、再来年以降検討をお願いしたいと思います。

総務企画課長補佐

こちら櫛引庁舎で今、スポーツ施設の管理業務は持っていないので、スポーツ課に伝えることになります。お繋ぎさせていただきます。

A委員

あともう一つですが、昨年、活性化事業の柏戸記念館で学童の相撲大会をやりましたが、どうしても土俵の他のところが狭くて危ないと、これから学童以外に、例えば中学生とか、高校生、一般の方の大会を設置するとなると、今のままでは無理です。もう少し外野席を拡張するような工事も、少し検討してもらいたいと思います。

産業建設課長

今のところ学童以外に広げる予定はないのですが、まず大会をやって、柏戸の名前を耳に刻んでもらいたいと思っています。

D委員

スポーツ関係で柏戸記念館の話がありましたが、観光協会としても、活性化事業として予算がついたということは大変よかったと思っています。ただ、相撲人口が少なくなっていて、関心を持っている子どもたちが少ないというのが、大変気がかりです。相撲道場に通う子供たちが主であったわけですが、道場に通う子どもたちがいなくなって、鶴岡市内の学校でも相撲大会がなくなっている。櫛引の小学校でも、参加者がほとんどいないというような状態で、柏戸の出身した櫛引においては、何とかまい形で子供たちにも知らせて、相撲の良さを理解していただきたいと思っています。その方法を、この施設を利用しながら、広げる、もしくは相撲の良さを知ってもらえる企画をしていただければ大変ありがたいと思っています。

私も西小学校の同窓会の役員もしていますが、コロナ禍で相撲大会が中止になったというのは理解できますが、だんだん通常に戻ったとき、学校行事として取り組むのを、今の先生方がだんだん躊躇し始めてきているのが事実のようです。その辺も何とかならないものかと、学校側には話をしているのですが、櫛引全体としての考え方もその辺をしっかりと持っていただきたい。

観光協会関係で、観光周遊ルートの魅力発信という事業ですが、残念ながら予算つかなかった。前回ぜひ付けてほしいことを申し上げた経緯がありますが、予算無しでもこの事業を進めていきたいと思っています。朝日との関連で、この辺りの黒川能、丸岡城跡も含めて発信するものが薄いというような感覚です。朝日とタイアップすることで、相乗効果ができるような形での活動、宣伝というか、PRを含めてのルート作りというものを考えたらどうかと。ぜひこういうことを何度か、お互いに交流しながらやっていきたいと思っていますし、それから、黄金の方に広げるという意見もあると思いますので、その辺を考えてほしいと思います。

内陸から来たお客さんから言われたことが、市全体の観光マップはないかと聞かれた。櫛引は櫛

引の観光マップ、朝日は朝日の観光マップはあり、それぞれの観光マップはあるわけですが、全部を網羅したのではないので、困ってしまいました。

あるのかどうかもちょっと確認出来なかったんですが、そういう形での観光マップが必要かどうか、市の観光でこういうのがありますよというのではないか、全市に知らしめてるようなものがあるのか、検討願えればと思います。

それから一番は観光協会として、観光果樹園の入場者数などもコロナ禍で減ったという原因はわかりますが、今度受け入れる果樹園が少なくなってきているのが現状でないでしょうか。そのための施策はいろいろ考えているようですが、現実的に復活しないのが現状で高齢化が進んで、要するに生産者側で観光果樹園をする魅力がなくなってしまっていて、今受け入れているお客さんで手一杯というのが現状なんだろうと思っています。

例えば果樹園を続けられないと、だんだん高齢化も進んでどういう形で引き継いでいくかということに、多くの予算をつけながら検討すべきじゃないかなと思います。その辺の考え方、もしあればお願いしたいと思います。

会長

今の件ですが、観光マップあるのか無いのか。後継者問題などについてもお願いします。

産業建設課長

後継者対策は非常に問題視してまして、今回5年度予算で後継者対策の予算要求をしました。どのような要求かと言いますと、果樹園の実態がどうなのかという調査です。

継続してやる気があるのか、後継者の有無とか、他の人に譲る意思があるとか、櫛引全体果樹生産者の実態把握調査を内容とする予算要求したのですが、もう少し県や大学から指導を受けたり、J Aと根回ししたりと、まとまってから実施したほうが良いという市長の考え方があって0査定となりました。しかし、本所の予算ですが、モデル地域を調査する予算は取れました。櫛引の未来事業ではなくなりましたが、来年度ある地域を調査します。それでうまくいけば、櫛引全地を調査して、果樹園を廃園縮小したい人と拡大したい人をマッチングさせるようなシステムを構築したい。その全体の調査をしたいというふうにして考えております。なかなか果樹園の担い手に結びつくまでは、かなり時間がかかるとは思いますが、非常に重い問題なのでしっかり現状を把握しないと駄目だと思います。その部分を来年度きっちり本所の農政予算であります。櫛引庁舎の産業建設担当と一緒に調査をし、実態を把握していきたいと考えてます。

相撲の話ですが、年度初め挨拶回りで、各小学校の校長さんに出向いて、行政の方からアピールして、ぜひ相撲大会を実施したいから協力して欲しいということを書いていきたいと思っています。

あと、南部広域の予算ですが、予算要求するにしても、会議費的なものはついたかもしれないのですが、具体的に何をするのかと聞かれた時に、朝日と櫛引の合意形成の話し合いの場で、何をするかという具体案が無いと予算は取れないのです。実際のところこれから話を詰めていき、来年度

10月に予算要求しますが、それまでに榊引と朝日と組んで何をするかという話をまとめて、内容を詰めていきたいです。今年度予算には間に合わなかったのですが、今までこういったケースがなかったもので、早急ではうまくいかないと思っています。今月末には柏戸記念館で双方集まってお話しをしますが、そんなスケジュール感でいきたいと思います。

マップについてですが、私も本所に聞いてみないとわかりませんが、そういうものがあれば提供したいと思います。あと、南部広域の中でどういったマップがいいのか、双方で作りたいと意見がまとまれば、榊引と朝日だけのマップを作る予算を要求するのもいいかなと思います。

C委員

福祉バスがこの2月で廃止になり、老人クラブでは非常に困っている状況です。総務の方では、バスが廃止した分必要に応じて出してくれるのか伺いたいです。それから老人クラブの職員の給料ですが、どのような予算でやっているのか理解できないので、その辺りも説明お願いします。

総務企画課長

福祉バスですが、福祉課の方が中心となって、ルールの見直しをしました。市のバスを、福祉バスの代わりに利用することも可能となっていますが、利用目的によってはお断りする場合もあるというような形で決められています。福祉バスについては、今まで社会福祉協議会の方で利用していた部分につきましては、市民福祉課が予約の窓口となります。そちらの方に予約の相談をしていただければと思います。

老人クラブの職員の給与ですが、それは社会福祉協議会の方で雇い上げしていると思いますので、市の予算は使われていません。そちらの方にお問い合わせいただければと思います。

C委員

福祉バスについて調べましたが、羽黒の方も廃止になったそうですが、藤島はそのまま利用できるみたいです。市が合併したのに、出来るところと、出来ないところがあるのは、不思議に思っています。合併するときに、10年ぐらいになったら大体同じにするというようなことで合併したと思っていましたけどどうしてでしょうか。

総務企画課長

羽黒と榊引の方は、社会福祉協議会のバスを福祉バスとして使わせていただけていました。藤島の福祉バスは鶴岡市が所有している福祉バスとなります。そもそもの成り立ちが違います。社会福祉協議会の方でバスが老朽化したことと、財政的なこともありまして、今回、福祉バスを廃止するという申し出がありました。それに代わるものとして榊引と羽黒は、市のマイクロバスがあ

ります。そちらを福祉バスとして運用するというようなことで、決めさせていただいております。

市民福祉課長補佐

福祉バスについて、市のバスを使うということにつきましては、羽黒と櫛引のバスが、社会福祉協議会の方で、老朽化に伴って廃車ということになりました。無くなっては困るということで、まず2年間、市のバスを使わせていただくということで、5年度から新しい方式でやってみますということになっております。2年後につきましては、藤島とか鶴岡とか、他の地区もすべての地域を合わせまして、統一的な運用を図り、これから2年間で協議していくということになっていきます。

E委員

山添高校の跡地の結果のことですが、鶴岡病院跡地になったいきさつですが、私たちが突然知ったことで、今ここで答えを欲しいというわけではないですが、ある程度経緯について、市民としては知っておくべきことではないかなと思ったので話をさせていただきます。

一つは鶴岡病院跡地の話が先行していたのか。それとも、この跡地が比較検討されて、鶴岡病院の跡地に決定したのか。この辺のいきさつはやっぱり市民として知りたい、特に櫛引地域の市民としては知りたい。地域の住民としては、山添高校の跡地をうまく活用していただけることによって人口の流入があるし、活性化というのもあるわけです。活用の仕方をする部分で、サッカーが盛んなので、こういった形で出てきたと思いますが、この再構築と書いてあるところでどういうふうに活用したら、この櫛引地域の人々にもプラスになるようなものになっていくのか、そういったところも考えていかないと、人口が減ってきている中で、建物もそうですが、事業そのものもほとんど縮小とか合併とかで、数は減らせられています。

果たしてそれで減っていくのが、中央集権的なパターンでやられると、地域はもっと疲弊していきたくらうと。歯止めとなるのは、支所があるうちに一緒に頑張っていかないと、下手すればこの支所だってなくなるかもしれないですよ。あと本所一本になってしまうかもしれない。

声が届きにくくなると、若干危惧しながら思ったところですが、そのところ、行政側として、もちろん市議会が中心になるだろうけれども、考えてうまく伝わり、市民が納得できれば一番いいのですが、その辺が疑問に思ったところですが。

もう一つマップのことですが、やはり本所の方で揃って欲しいなと思いました。例えば400年記念で歴史マップを作ってます。これは庄内地域全体のマップです。これはデジタル化されたもののマップです。紙化にしてのマップは、庄内全部はとても拾いきれなくて、もうほとんどピックアップして、そこそこの部分でのマップを出すんですが、私は400年記念の中で歴史文化部のをやりましたが、もう一つ観光部の方では、すでに観光マップを作って出しています。先ほどありました櫛引地域の観光協会でも一つ出しています。だから横の繋がりを総合的に本所の方でやっていただかないと、一つのものにはならないだろうと思います。

先ほど、安野さんからも話がありましたが、朝日と櫛引の観光協会同士話し合いをしながら、どこかで活路を見いだすところがないか、提携することができないかという話し合いの重要性です。しかし行政は、話し合うことの重要性にはあまり予算つけないですよね。だからそういう無駄なところに金を使わないというのはわかりますが、これからのことを考えたときに、どこに支援していくのか、もう少し見てもらえるとありがたいのかなと思います。市民として地域民として自分が生き残るために、この櫛引をどうしていけばいいのかが一番大きい問題点だろうと思います。

黒川の方でもやっぱり観光に関してどのようにやっていいのかすごく考えています。しかしいろいろ考えますが、実際やろうとするとやっぱり縮小してしまうところはあるんですが。

もう一つだけ付け足すと、先ほどのフルーツ関係もそうですが、後継者がいなくなっているのです。テレビの移住者の番組もありますが、移住者も鶴岡に結構入ってきているのは認識していますが、いわゆる農業体験ではなく、農業体験から移住を求めるような方向、そういった動かし方も考えられると思うんです。私も考えてますが、黒川も役者が足りなくなっていて、外から引っ張ってくる話もしているぐらいです。ただ単なる体験ではなくて、移住と関わりをもう少し強められるような形も考えていったら面白いのかなと思ってました。

マップ作りですが、あちこちで作っていると思いますが、それを鶴岡市として1つに凝縮してトータルにして、観光地、食べ歩きも絶対必要だと思います。こういったものを作り上げていって、若い人達はほとんどQRコードでアクセスすると見れます。デジタル化すれば情報はいくらでも入ってきます。

産業建設課長補佐

全体的なものをまとめた、「また訪れたいまち鶴岡」観光パンフレットというものがあります。それとは別に、櫛引地域だとフルーツの里推進員さんが作っている「フルーツタウンくしびき」とか、朝日地域、温海地域の温泉のパンフレットなど、いろいろなものがあるのですが、作ってはいますが、それを生かしてないという部分もございます。皆さんと協力しながらPRしていければというふうに思っております。

E委員

そのマップが1ヶ所に行ったら全部揃っているところはありますか。

F委員

FOODEVERの中にある鶴岡市観光協会には、全部揃っているはずですよ。あそこが一番鶴岡のメインなので。

E委員

FOODEVER、その場所がわかればいいですね。あと、庄内観光物産館にも置いてもらうのもいいかなと思います。

会長

山添高校跡地についてお願いします。

総務企画課長補佐

鶴岡病院跡地の方が先だったと思います。ただし、最初は人工芝サッカー場ではなくて、もっと大きいJ1やJ2を呼べるようなサッカースタジアムを鶴岡病院跡地に県から作ってもらいたいという要望だったと思います。しかし、現実的に県で作ってくれるにはハードルが高いというので、近隣にはあるけれども、鶴岡市には人工芝サッカー場が無いので、サッカー協会から、これだけサッカーが盛んな鶴岡市に人工芝サッカー場が無いのかという要望も上がっていて、それがいつの間にか一体化したみたいになり、人工芝サッカー場の方がスタジアム作るよりは、お金がかからないだろうということで、一本化ってきたと思います。鶴岡病院跡地の方が、先にサッカー場に手を挙げていたのは確かです。

櫛引は最初から人工芝サッカー場で話をしていたのですが、一番はどっちが先かではなくて、鶴岡病院跡地を早く解体してもらいたいという地元黄金地区の声が大きかったということ。病院跡地の建物があること自体が、気味が悪い、また、不審者が入って遊んでいたとか、そういう問題もあり、県でもパトロールを強化していたとのことでした。

結局、土地の比較とかというよりも、鶴岡病院の解体することが先行だったと思います。ただ解体するだけでは財源が見つからないので、サッカー場を整備すると財源持ってこれるということで、そういった経過で、鶴岡市全体としてはそちらの方が優先だったという判断がなされたと思います。今後については、皆さんと一緒に考えていきたい思います。

会長

あとは先ほどの移住と、農業振興についてお願いします。

産業建設課長

こういったことをやるにしても基礎的なデータが無いので、果樹園の品目ごとの面積もあまりはつきりしてない状況です。特に所有者が、やる気のある人、ない人をきっちりアンケートで調べて、やる気のない人で誰かに譲る人がいるかどうかを調査して、譲ってもいい人と欲しい人との間に役所が入って、園地を継承することを進めていきたいですけども、移住するにしても、その移住する場所も調べないといけないですし、移住してきても、経営したくなるような畑があるかが問題です。果樹園地の基本的なデータを調査したいということです。5年度はある地域に出向いてアンケートを実施して、譲る気があるか等、細かい情報をアンケート調査してデータを広げていき、将来移住とかは先のこととしても基本的な情報を集めていきたいと考えています。

予算がつくように頑張らないといけないですが、来年しっかり一つのモデル事業でいい結果を出せば繋がると思います。

会長

農業振興については、今後もいろいろな検討をしていくものと思います。櫛引地域が売りにしている少量多品目栽培もいいとは思いますが、農業で生業をしてゆくための栽培体系や販売方法等の検討もお願いしたいと思います。

B委員

観光果樹園については、受け入れられる農業者さんが、コロナ以降だけではなく、高齢化も含めて、だんだん減ってきているのが現状です。マップですが、観光協会のマップを作らせてもらった経緯もありますが、観光果樹園も大分減ってきています。観光果樹園だけでなく、果樹栽培をやめる場合も、次の実がなる前に切らないといけません。病気が他の果樹に移ったりすると周りに悪影響を与えるので、農家はやめると決断したら切ることになっています。うちでその木をまきにする関係で結構依頼も来ています。切ってしまうと、次に、マッチングさせることもできないと思うのです。あまりのんびりはしてられないという感じがすごくあります。

さくらんぼは特に資材費がかかるとか、新規参入がしにくいそうです。マッチングですが、果樹栽培が儲かると思えばマッチするとは思いますが、その辺はあんまりのんびりせずに進めていただきたいなと思います。

観光マップに関しては、櫛引管内だけでいうと、1日で周遊するぐらいだといいますが、食べて宿泊して、アクティビティ・イベント等も参加してだと、すごく難しくなっていると感じています。櫛引管内だけだと、飲食店も参加されてる店も少ないですし、何か新しい次の時代に向けてどうやって広域化させるのか、既存の形ではなくて、観光客が魅力的な体験ができるように、予算はつかないとおっしゃらずに、何か新しい形の取り組みに動きやすいように、市の方でも動いていただければありがたいなと思いました。

産業建設課長

6年度予算要求にあたって背中を押されて良い意見をいただいたので参考にさせてもらい、反映させたいなと思っております。

確認ですが、観光果樹園を止めた所は、マップから外してあるんですね。

B委員

そうです。だんだん減ってきて、先ほどの観光果樹園の受け入れ客数 24,000 人ですか、その目標値も、やはり見直す必要があるかなと私も感じたところです。観光で受け入れるよりも、出荷に移行してる農家さんもいますので、その収益が減っているというわけではないと思います。

会長

次第の(3)生涯学習センターの耐震改修工事についてお願いします。

総務企画課長

資料5をご覧ください。今までも何度か生涯学習センターの耐震改修工事事業についてはご説明をしてきましたけれども、いよいよ来年度内示としては予算がついております。議会で設置決定ということになりますが、正式決定に向けて今準備をいろいろと進めています。

事業概要につきましては今までご説明していただきましたので、ご覧ください。工事の内容についても、いろいろと予算的なことで精査しながら、耐震改修工事にかかる経費として、こちらの方の工事内容を予定しております。

次の2ページ目をご覧ください。学習センター前の駐車場等につきましては、規制がかかります。工事車両等の関係で、工事期間中に駐車できないところが、学習センターの脇の貯水槽脇と前の方に駐車できなくなります。また老人福祉センターの方でも、工事期間の順番等にもよりますが、駐車できない期間ができます。それについてはその都度、周知させていただきますので、ご了承くださいたいと思います。

また、3ページの方につきましては、工事期間中に利用できる場所と利用できない場所ということで記載してありますので、こちらの方をご覧ください。色がついていないところにつきましては、利用できる場所になります。学習センターのコピー機や印刷をご利用している方々もいらっしゃると思いますが、こちらは利用できますのでどうかお使いください。

事務室の方には事務職員たちが平常時と同じように日中はいますので、いろいろなご相談等ありましたらそちらの方においでいただければと思います。

4ページ目についてはこちらが耐震改修工事のお知らせということで、このようなチラシを皆様に決まりましたら、配布したり、掲示したりしてお知らせしたいと思います。5月の連休明けから学習センターの方は使用できないというようなことになる予定であります。

次の5ページ目からですが、学習センターの方が使えなかった場合について、代替施設ということでのご紹介になります。黒川能の里王祇会館やゆ〜Town・櫛引スポーツセンター、高齢者活動センター等、櫛引情報センター、そちらの方もご利用いただくことができると思います。ただこちらに記載されてある通り、料金がかかる場合があります。こちらの方でもそれぞれの施設事業管理者に減免できないかということでの依頼はいたしますけれども、施設管理者の考え方、また条例とか、規則とかにより、もしかするとという言い方は申し訳ないですが、減免等できない場合もありますので、何が何でも代替施設だから減免できるというわけではないということでご了承いただきたいと思います。学習センターの改修工事につきましては以上です。

会長

皆さん、質問ありますか。

E委員

この周知は地域に配られるのですか。

総務企画課長補佐

基本的には今使用している利用団体には周知します。全地域については検討させていただきます。

E委員

わかりました。もう一つ着工はいいのですが、いつ終わる予定ですか。少し気になったものからです。

総務企画課長補佐

それについても業者が決まらないとですが、年度内で終わらせる予定でスケジュールを考えていますが、例えば、入札が落ちなかったとか、そういうことがあると次年度に伸びる可能性もあるので。工事業者が決まると工程が決まると思います。決まった時点で改めての周知は必要かなとは私も思います。また担当と確認いたします。

E委員

黒川橋はこのまま着工でいいのですか。

産業建設課長補佐

国に委託するので、国の方向性がどうなるかというのはまだ分からないところはありますが、占用が8月いっぱいまでしか取れてないので、通れるのは8月まで、もしくはもうちょっと早く通れなくなるかもしれないですがそういう予定です。

E委員

わかりました。

会長

(4)で協議することはありますか。なければ、4 その他で、これだけは発言したいということがあればお願いします。なければ懇談会閉じてよろしいですか。それでは協議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

総務企画課長

小林会長どうもありがとうございました。

皆さんもいろいろなご意見をいただきまして大変ありがとうございます。

参考にさせていただきたいと思います。

今後の懇談会につきまして申し上げます。現在の委員の皆様は、今年度末のまでの任期となっております。多くの議題についてご協議ご意見をいただきましてありがとうございました。

また、来年度は委員の改選期となっておりますが、引き続き委員をご依頼させていただく方も、多々いらっしゃるかと思っておりますので、その際にはまたお力添えを賜りますようによろしくお願いいたします。

総務企画課長補佐

来年度は総合計画の見直し、地域振興計画の見直しありますので、いつもの年より少し開催回数が多い可能性があります。引き続き、委員を依頼する方が多いと思っておりますのご理解いただきたいと思います。

総務企画課長

よろしくお願ひします。

以上をもちまして、今年度第2回の櫛引地域振興懇談会を閉会させていただきます。
長時間にわたり、どうもありがとうございました。

終了 16時10分